

平成26年度当初予算 施策 取組概要

313 林業の振興と森林づくり

(主担当部局：農林水産部)

- 31301 県産材の利用の促進 (農林水産部)
- 31302 持続可能な林業生産活動の推進 (農林水産部)
- 31303 林業・木材産業の担い手の育成 (農林水産部)
- 31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮 (農林水産部)
- 31305 森林づくりへの県民参画の推進 (農林水産部)
- 31306 森林文化および森林環境教育の振興 (農林水産部)

県民の皆さんとめざす姿

県産材の需要が拡大し、活発で持続的な林業が展開されるとともに、県民の皆さんによる、さまざまな形での森林づくりへの参画により、森林の再生が進んでいます。

平成27年度末での到達目標

建築用材だけでなく、エネルギー源など新たな用途での利用が進み、木材生産量が増加しています。また、森林環境教育や森林に親しむ機会の提供に加え、県民の皆さんや企業、ボランティア等が森林づくりに参画しやすい環境整備が進み、さまざまな主体による森林づくり活動が活発に行われるとともに、間伐等の森林整備が進み、森林の適正な管理が進んでいます。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
県産材(スギ・ヒノキ)素材生産量	255千m ³	303千m ³	336千m ³		369千m ³	402千m ³
	255千m ³	290千m ³				
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県内で生産されるスギ・ヒノキの供給量					
26年度目標値の考え方	平成27年度の目標達成に向け、計画的な生産量の増大をめざし目標値を設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
31301 県産材の利用の促進 (農林水産部)	「三重の木」認証材等出荷量	26,737 m ³	32,000 m ³	37,000 m ³		43,000 m ³	50,000 m ³
		26,737 m ³	33,899 m ³				
31302 持続可能な林業生産活動の推進 (農林水産部)	施業集約化団地面積(累計)	6,669ha	20,000ha	30,000ha		40,000ha	50,000ha
		6,669ha	26,312ha				

基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
31303 林業・木材産業の担い手の育成 (農林水産部)	新規林業就業者数		40人	40人		40人	40人
		41人	42人				
31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮 (農林水産部)	間伐実施面積 (累計)		9,000ha	18,000ha		27,000ha	36,000ha
		—	5,870ha				
31305 森林づくりへの県民参画の推進 (農林水産部)	森林づくり参加者数		27,000人	28,000人		29,000人	30,000人
		23,449人	32,539人				
31306 森林文化および森林環境教育の振興 (農林水産部)	森林文化・森林環境教育の活動回数		1,700回	1,800回		1,900回	2,000回
		1,538回	1,749回				

進捗状況（現状と課題）

- ・「三重の木」等の利用拡大を図るため、住宅等への利用促進に向けたPR活動15取組を選定し支援するとともに、首都圏等での販路開拓に取り組んでいます。また、公共建築物等への木材利用を推進するため、市町に「公共建築物等木材利用方針」の策定を働きかけた結果、合計24市町（9月末現在）で策定済となりました。今後は、さらなる「三重の木」等の販路開拓や、公共建築物等における利用の拡大が必要です。
- ・住宅や商業施設に「あかね材」を利用する「パートナー企業」18社を選定し、PR活動を支援しています。また、県産材の利用拡大に繋がる「木材利用ポイント」制度について、県政だよりやラジオを活用してPRを行いました。今後も、「あかね材」のさらなる認知度向上が必要です。
- ・県内初の木質バイオマス発電事業について、事業者に対して計画的に資金融通支援を行い、施設整備を進めるとともに、木質チップ原料の供給事業者に対し収集・運搬機械等の導入支援や流通経費支援を行っています。引き続き、供給事業者に対する支援を通じて木質バイオマスの安定供給体制を構築することが必要です。
- ・森林経営計画の作成を促進するため、三重県森林組合連合会と連携して、市町及び森林組合等の林業事業体を対象にワークショップを開催するなど、制度の普及・定着を進めました。また、森林組合等の林業事業体が森林所有者と合意形成を図るための活動を支援しました。今後もさらなる制度の普及・定着を図ることが必要です。
- ・新規林業就業者を確保するため、就業フェアを7月に開催するとともに、高校生を対象にした職場体験を2校で開催しました。今後も、学校等の関係機関との連絡調整を密にして、新規林業就業者の確保に取り組む必要があります。
- ・間伐実施面積の増加を図るため、森林組合等と連携して地区説明会を県内7地域で合計52回開催し、森林所有者等（対象者728名）に森林整備に対する支援制度の周知や施業の働きかけなどを行いました。また、森林施業の集約化、路網整備、高性能林業機械の導入等による搬出間伐の低コスト化を進め、生産林の整備を促進しています。今後も、搬出間伐の低コスト化を進めるとともに、荒廃している森林の所有者に対して、間伐の実施を働きかけるなど、間伐実施面積の増加に取り組む必要があります。
- ・環境林の整備について、市町及び森林組合等の林業事業体に対して、今年度から新たに創設された国の補助制度の周知や事業実施の働きかけを行うとともに、市町が取り組む間伐等を支援しています。今後も、森林所有者の理解と協力を得て、環境林の整備を進める必要があります。

- ・森林づくりへの県民参画を推進するため、三重県緑化推進協会等の関係団体や企業と連携して5月に県民参加の植樹祭を開催しました。また、関係団体とともにショッピングセンター等で森林づくりや木材利用についての啓発活動を県内各地で実施しています。ホームページ等での情報発信とともにイベント等での啓発活動を引き続き行う必要があります。
- ・森林文化および森林環境教育の振興については、指導者養成講座の開催や小学校7校に森林環境教育活動支援を行なうとともに、森林環境教育の普及・推進方法等を検討する庁内検討会（構成部局：農林水産部、教育委員会、環境生活部 オブザーバー：津市教育委員会、伊賀市教育委員会、大杉谷自然学校等）を設置しました。検討結果を踏まえ、小学校への森林環境教育の効果的な普及を図る必要があります。
- ・「みえ森と緑の県民税」の円滑な導入に向け、県民参加の植樹祭やショッピングセンター等での周知活動、地域の集会や会議等での説明を計201回（9月末現在）実施するとともに、4月～7月に集中してフリーペーパーへの広告掲載、コンビニ等へのチラシの配架やポスターの掲示、県庁舎への懸垂幕の掲出、高校野球三重県大会でのテレビCM放送やラジオによる広報などさまざまな媒体を活用した広報を行ってきました。また、市町や経済団体等の協力を得て、広報誌等に記事を掲載するとともに、市町交付金制度について、市町との協議を進めました。今後も、引き続き普及啓発活動を実施する必要があります。
- ・紀伊半島大水害で被災した林道施設について、年度内復旧に向けて取り組んでいます。また、平成25年の台風18号で被災した林道施設の早期復旧が必要です。

平成26年度の取組方向

- ・「三重の木」等の利用拡大を図るため、住宅等への利用促進に向けたPR活動に取り組むとともに、県内ビルダーに「三重の木」等の利用を働きかけます。また、「公共建築物等木材利用方針」の全市町策定に向けて積極的に働きかけるとともに、三重テラスを活用した「三重の木」等のPRを行うなど首都圏での販路開拓に取り組みます。
- ・「あかね材」のさらなる認知度向上を図るため、住宅や商業施設に「あかね材」を利用する「パートナー企業」のPR活動について、ショッピングセンター等の商業施設に重点を置いて支援します。
- ・県内初の木質バイオマス発電事業について、平成26年度秋の本格稼働に向けて支援するなど、木質バイオマスのエネルギー利用の拡大に取り組むとともに、引き続き、木質バイオマスの安定供給体制づくりに取り組めます。
- ・森林経営計画の作成を促進するため、林業普及指導員が核となり、市町や森林組合等と連携しながら、森林経営計画に関する相談・指導に通年体制で対応し、さらなる制度の普及・定着を図るとともに、森林組合等の林業事業者が森林所有者と合意形成を図るための活動を支援します。
- ・新規林業就業者の確保を図るため、引き続き、高校生を対象にした職場体験研修等を開催するとともに、県産材の効率的な生産に必要な機械操作に習熟した技術者や、森林施業の集約化を担う森林施業プランナーなどを育成します。
- ・生産林の整備を促進するため、森林施業の集約化、路網整備、高性能林業機械の導入等による搬出間伐の低コスト化を進めるとともに、間伐実施面積の増加に向けた支援に取り組めます。また、森林組合等事業者と連携して、荒廃している森林の所有者に対して、間伐等の森林整備の実施を働きかけます。
- ・環境林の整備を促進するため、引き続き、国の補助制度を最大限活用しながら、森林組合等の林業事業者や市町が取り組む間伐等を支援します。
- ・森林づくりへの県民参画を進めるため、森林づくりに取り組みたいと考える企業やボランティアへの必要な情報提供や技術支援を行うとともに、森林とふれあうイベントを開催します。また、県民参加の植樹祭を、市町、関係団体、企業、県等が連携して開催するしくみづくりを進め、平成27年度からの県内持ち回り開催の定着を図ります。

- ・森林文化および森林環境教育の振興については、小学校で三重県の森林を学習する機会の増加や内容の充実を図るとともに、小学校からのさまざまな要望に応えられるよう、森林環境教育指導者のスキルの向上をさらに進めます。また、森林のフォトコンテストにジュニア部門を創設するなど、応募者の増加を図ります。
- ・「みえ森と緑の県民税」を財源として、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を市町と連携して着実に進めます。県営事業では、流木となる恐れのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出や治山施設等に異常堆積した土砂や流木の撤去等を行いません。加えて、市町が地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりの施策を展開できるよう市町交付金を交付し、里山や集落周辺の森林の整備、森林や木材について学び・ふれあう機会の提供、公共建築物の木造・木質化などを促進します。また、さまざまな媒体を活用して引き続き税の周知を実施するとともに、税を活用した事業の実施状況の公表を行いません。
- ・平成 25 年台風 18 号で被災した林道施設の早期復旧に取り組みます。

主な事業

農林水産部

●「もっと県産材を使おう」推進事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】

予算額：(25) 11,134千円 → (26) 8,926千円

事業概要：品質や規格の明確な「三重の木」「あかね材」の利用拡大を図るため、「三重の木」認証事業者等が行う「三重の木」等を PR する取組や、住宅や商業施設等に「あかね材」を利用して PR する取組を支援するとともに、県内や首都圏などでの「三重の木」等の販路開拓に取り組みます。

●木質バイオマスエネルギー利用促進事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】

予算額：(25) 9,901千円 → (26) 10,631千円

事業概要：木質バイオマスの安定供給体制を構築するため、木質バイオマス推進員の普及活動、木質チップ原料を供給する事業者の収集・運搬機械導入や新たな雇用等を支援します。

●森林経営計画作成推進事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

予算額：(25) 43,419千円 → (26) 19,776千円

事業概要：林業事業者等による森林経営計画の作成を促進するため、境界確認や森林所有者との合意形成活動等を支援します。また、集約化施策を促進するため、間伐を行うために必要な調査や既存路網の簡易な改良等を支援します。

●林業担い手育成確保対策事業【基本事業名：31303 林業・木材産業の担い手の育成】

予算額：(25) 15,127千円 → (26) 5,701千円

事業概要：林業の担い手を確保するため、高校生等への就業体験の開催や雇用の受け皿となる林業事業者の育成に取り組むとともに、林業機械の操作やメンテナンス等に習熟した技術者を養成します。

●造林事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

予算額：(25) 194,017千円 → (26) 443,467千円

事業概要：森林の有する多面的機能の維持・増進や持続的林業生産活動等の推進を図るため、植栽、下刈、搬出間伐等の森林整備や路網整備を支援します。

●林道事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

予算額：(25) 538,186千円 → (26) 834,527千円

事業概要：木材の生産や搬出に必要となる林道を開設するとともに、輸送力の向上と通行の安全の確保等を図るため、既設林道の改良などを実施します。

●がんばる三重の林業推進事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

予算額：(25) 41,992千円 → (26) 26,897千円

事業概要：県産材の安定的・効率的な供給体制を構築するため、森林の団地化・施業の集約化や路網整備等と搬出間伐の一体的な実施、流通の合理化の取組を支援するとともに、架線技術の継承など技術者の養成を進めます。

●森林整備加速化・林業再生基金事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

予算額：(25) 4,423,988千円 → (26) 53,795千円

事業概要：林業・木材産業の再生を図るため、三重県森林整備加速化・林業再生基金を活用し、効率的な木材生産の構築に向けた人材育成等を支援します。

●森林環境創造事業【基本事業名：31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(25) 189,882千円 → (26) 166,926千円

事業概要：環境林に区分された森林のうち、所有者から提供された森林を公共財として位置づけ、森林の有する公益的機能が持続的に発揮されるよう、間伐等により針葉樹と広葉樹との混交林への誘導を行うなど、森林の適正な管理を進めます。

●森林再生による野生鳥獣の生息環境創出事業【基本事業名：31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(25) 72,994千円 → (26) 36,575千円

事業概要：かつて野生鳥獣の住処であった健全な森林を再生するとともに、集落付近の森林において野生鳥獣の隠れ場所等を解消し、野生鳥獣の出没機会の減少を図ります。

●(新)災害に強い森林づくり推進事業【基本事業名：31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(25) — 千円 → (26) 429,404千円

事業概要：「みえ森と緑の県民税」を活用して「災害に強い森林づくり」を進めるため、流木となる恐れのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出や治山施設等に異常堆積した土砂や流木の撤去等を行います。

●(新)みえ森と緑の県民税市町交付金事業【基本事業名：31305 森林づくりへの県民参画の推進】

予算額：(25) — 千円 → (26) 268,600千円

事業概要：「みえ森と緑の県民税」を活用して「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するため、市町が地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりの施策を展開できるよう交付金を交付します。

- (新) みえ森と緑の県民税制度運営事業【基本事業名：31305 森林づくりへの県民参画の推進】
予算額：(25) ー 千円 → (26) 58,142千円
事業概要：「みえ森と緑の県民税」について県民の皆さんへ普及啓発を行うとともに、税を活用する事業等について幅広く意見・提案をいただく「みえ森と緑の県民税第三者評価委員会（仮称）」を設置・運営します。

- 林道施設災害復旧事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】
予算額：(25) 711,406千円 → (26) 102,000千円
事業概要：平成25年台風18号などにより被災した林道施設の復旧を支援します。